

一般社団法人熊本市医師会

令和5年度 事業報告

I 法人の概要

1. 設立年月日

昭和22年11月13日

平成25年4月1日（一般社団法人へ移行）

2. 定款に定める目的

本社団法人は、医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ①医道の高揚に関する事項
- ②医学教育の向上に関する事項
- ③医師の生涯研修に関する事項
- ④医学、医療の国際交流に関する事項
- ⑤公衆衛生の指導啓発に関する事項
- ⑥地域医療の推進発展に関する事項
- ⑦地域保健の向上に関する事項
- ⑧保険医療の充実に関する事項
- ⑨医療施設の整備に関する事項
- ⑩会員の相互扶助に関する事項
- ⑪医業経営の安定、会員の福祉向上による市県民の健康及び福祉の増進に関する事項
- ⑫医師会相互の連絡調整に関する事項
- ⑬看護師、准看護師その他の医療従事者の養成及び生涯教育に関する事項
- ⑭熊本市医師会看護専門学校の運営に関する事項
- ⑮熊本市医師会熊本地域医療センター（医師会病院、検査センター、ヘルスケアセンター、在宅ケアセンター）の運営に関する事項
- ⑯その他本会の目的を達成するために必要な事項

4. 所管官庁に関する事項

熊本県健康福祉部医療政策課

5. 会員の状況

区分	当期末	前期末比増減
A会員（開業医師）	575名	-8名
B会員（勤務医師）	866名	+11名
C会員	69名	+20名
合計	1,510名	+23名

6. 主たる事務所

熊本県熊本市中央区本荘3丁目3番3号

7. 役員に関する事項

令和6年3月31日現在

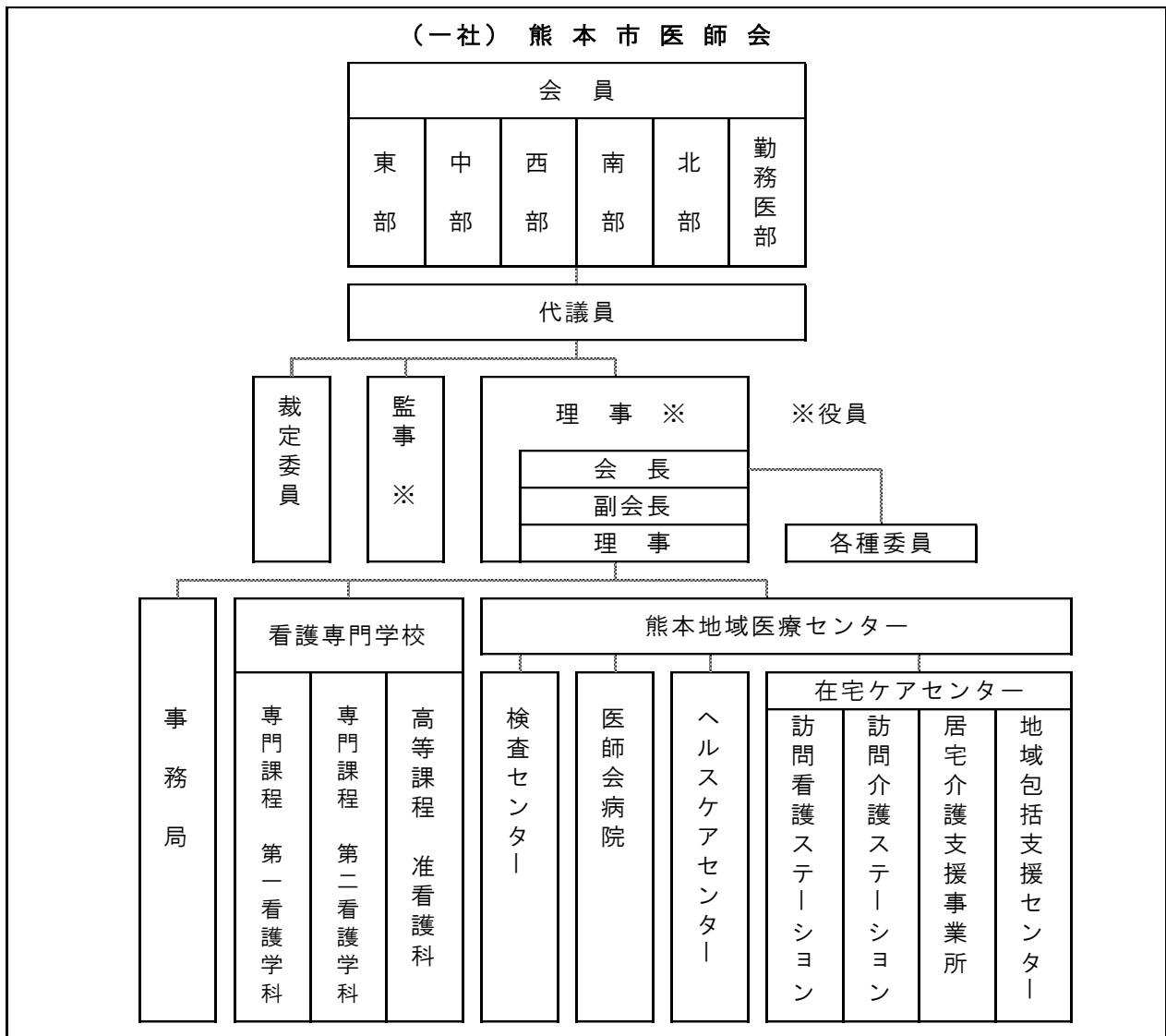
役職	氏名	主たる担当職務
会長	園田 寛	
副会長	濱田 泰之	総務(学術、勤務医部)、看護専門学校長、ヘルスケアセンター全般
副会長	田中 英一	総務(医師会病院建設、地域包括ケアシステム、在宅医療)、在宅ケアセンター全般、検査センター全般
副会長	前田 篤志	総務、医師会病院全般
理事	緒方 武幸	会計
理事	宮本 大典	庶務
理事	家村昭日朗	保険、准看護科
理事	田嶋 哲	広報、看護専門学校会計、第2看護学科
理事	魚返 英寛	看護専門学校庶務、第1看護学科
理事	野津原 昭	在宅医療、検査センター会計
理事	高群 博之	勤務医部、ヘルスケアセンター会計
理事	柏木 孝史	検査センター庶務、学校検診
理事	杉野 茂人	医師会病院建設
理事	冬田 修平	介護保険、在宅ケアセンター庶務
理事	清原 英雄	社会福祉
理事	緒方 一朗	地域医療、ヘルスケアセンター庶務
理事	高野 正太	国際交流、医師会病院庶務
理事	池上あずさ	会員福祉、学術
理事	玉野井優水	新型コロナ対策(感染症)
理事	土井 賢	学校保健
理事	鶴田 克家	医療情報、医師会病院会計
理事	片山 貴文	在宅ケアセンター会計
理事	米満弘一郎	救急・災害医療
監事	松下 和孝	
監事	倉富 明彦	
監事	牧野 良造	

8. 職員に関する事項

令和6年3月31日現在

部署	正規職員		嘱託職員		臨時・パート・非常勤		総計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
法人事務局	7	6	2		2	2	11	8	19
看護専門学校		29	1	2		3	1	34	35
検査センター	12	28	4	2	5	32	21	62	83
病院	89	278	6	5	12	43	107	326	433
ヘルスケアセンター	11	19	5	1	4	11	20	31	51
在宅ケアセンター	3	7	1			17	4	24	28
合計	122	367	19	10	23	108	164	485	649
	489		29		131		649		

9. 組織図



10. 施設の設置状況

施設の名称	所在地
熊本市医師会事務局	熊本市中央区本荘3丁目3番3号
看護専門学校	熊本市中央区本荘3丁目3番3号
検査センター	熊本市中央区本荘5丁目15番12号
医師会病院	熊本市中央区本荘5丁目16番10号
ヘルスケアセンター	熊本市中央区本荘5丁目15番12号
在宅ケアセンター 訪問看護ステーション 訪問介護ステーション 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター	熊本市中央区本荘5丁目16番10号 熊本市中央区本荘4丁目1番3号

11. 許認可に関する事項

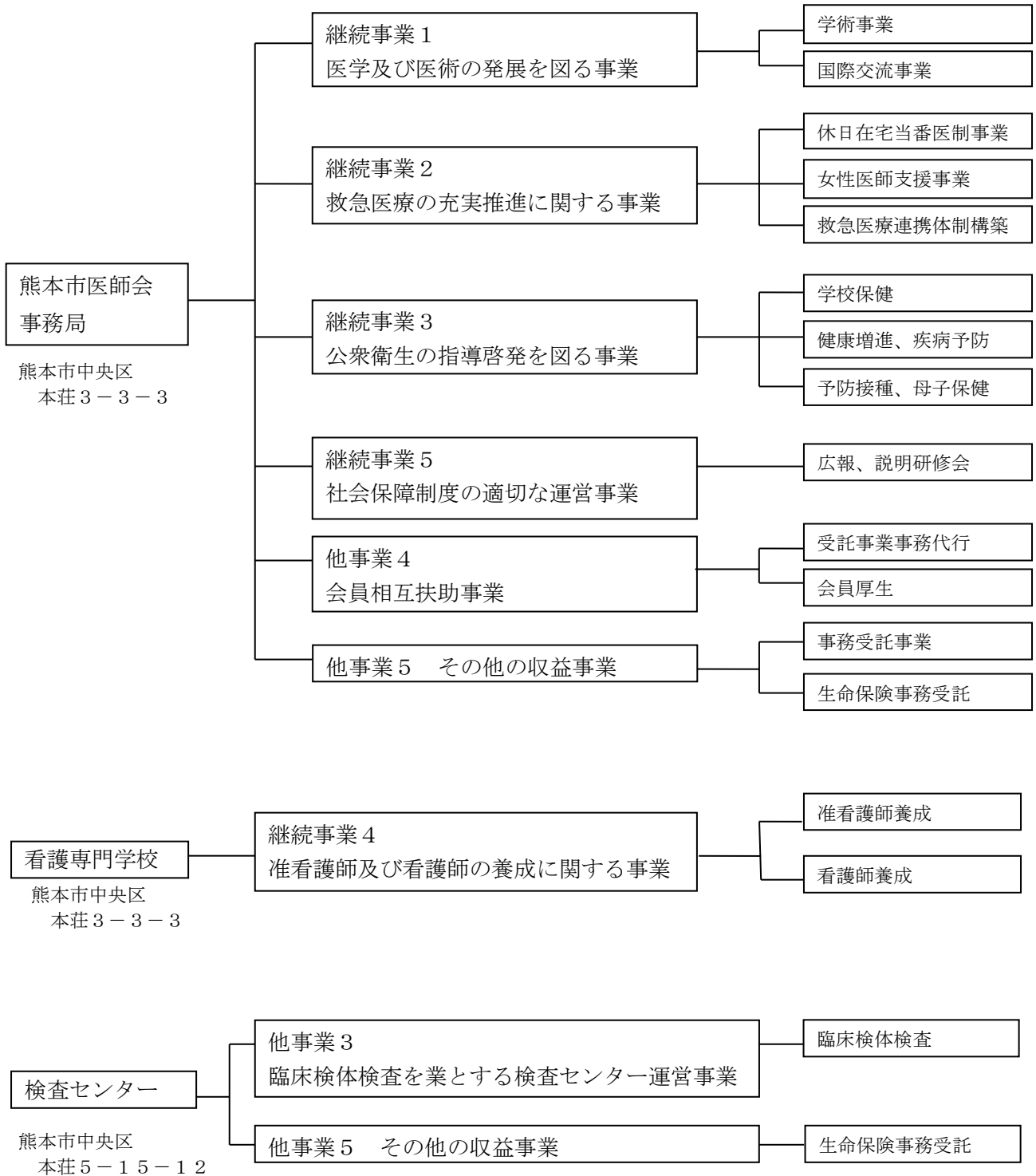
なし

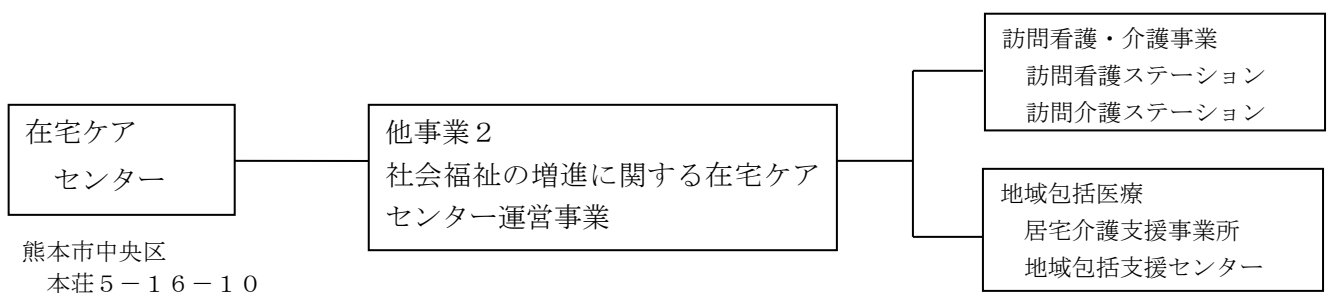
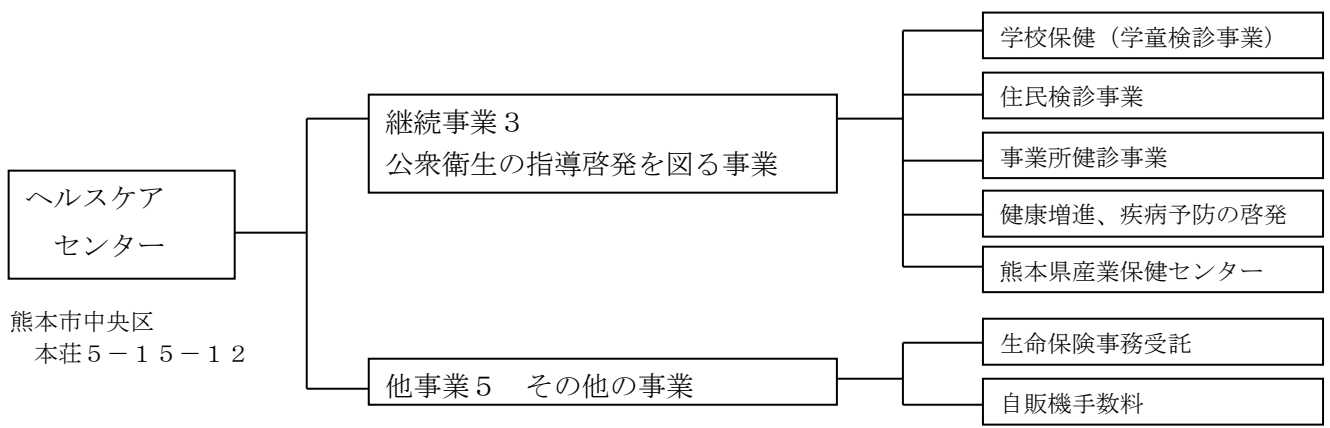
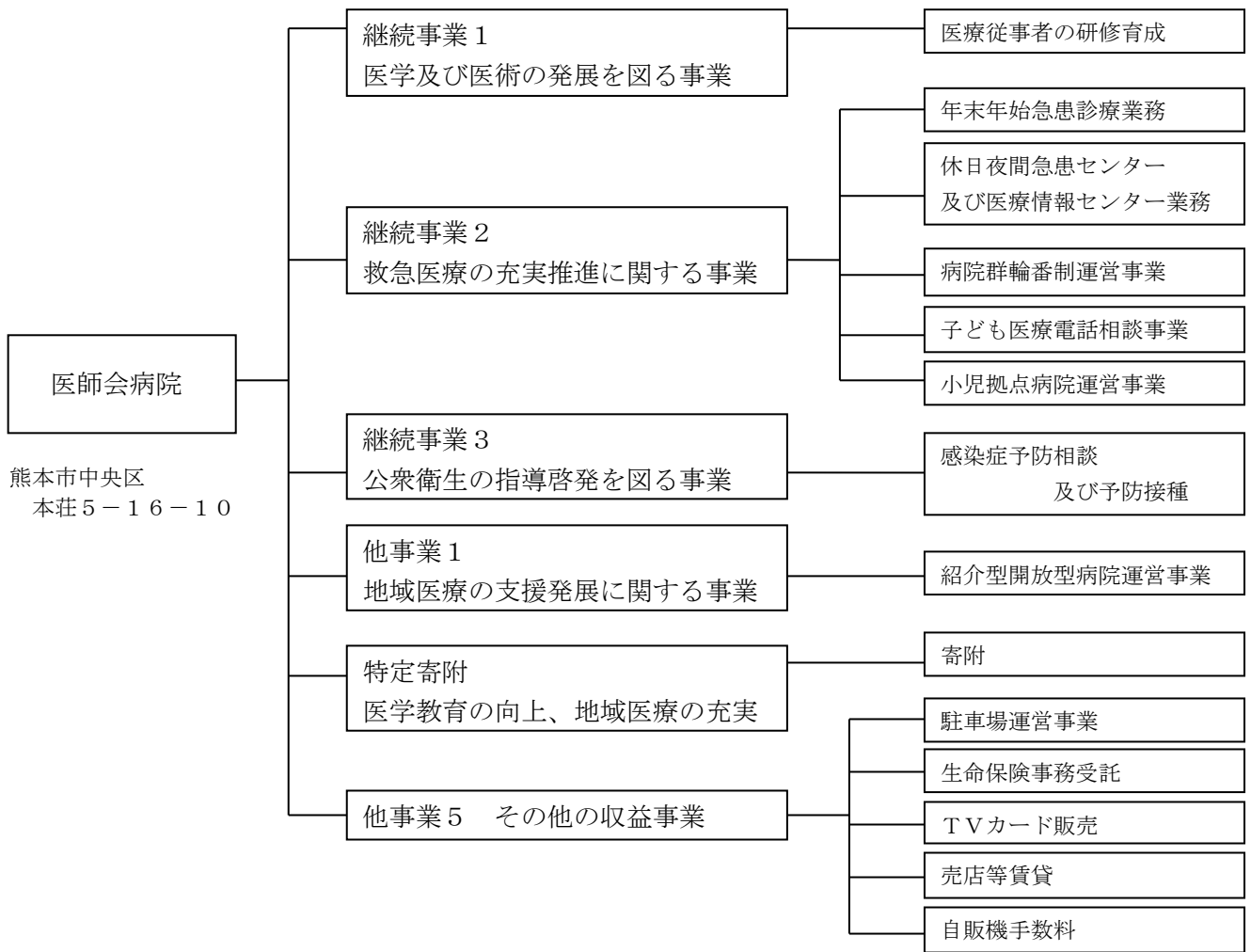
II 事業の状況

1. 事業の実施状況

本社団法人は、定款第3条の目的を達成するために努力し、定款第4条に掲げる事業を実施している。

(1) 事業・組織体系図





(2) 事業の概要

[継続事業1] 医学及び医術の発展を図る事業

日進月歩の医療において学術の振興を図り安全で質の高い医療を提供していくためには、生涯教育の推進は欠かすことのできないものであり、これを達成するために学術委員会、生涯教育委員会を設置して時宜を得た学術講演会や勉強会等を企画・開催するとともに、関係機関と協力連携のうえに各種講演会・研修会を共催している。また、熊本地域医療センターは地域医療支援病院の指定を受けているが、開設当初より医療従事者生涯教育の実習研修する場として開放し、医療従事者の指導育成に努めている。

1) 学術事業

学術委員会の開催	令和6年3月4日(月)
生涯教育委員会の開催	令和5年7月18日(火)
日医生涯教育講座の打合せ	令和5年9月25日(月)
講演会、勉強会の開催	
・学術講演会	3回開催 出席者72名
・熊本地域医療センター勉強会	10回開催 出席者293名
・共催後援の講演会	52回開催。そのうち当法人会館で2回開催。
・講演会、研修会等会場の提供	次のとおり講演会、研修会等会場の利用に供した。
相手	熊本大学医学部19回、専門医会16回、医専連4回、医師会員22回、 行政他4回
提供施設	講堂33回、研修室70回
提供日	平日82回、土曜日11回、日曜日6回

2) 国際交流事業

令和6年1月30日 熊本市の訪問団が高雄市長(台湾)を表敬訪問
熊本市長から高雄市長へ「高雄市医師会・熊本市医師会 交流会設立趣意書」を手交して
いただいた。

3) 医療従事者への研修育成事業

令和5年度は、次のとおり実施した。

ア 医療従事者への研修

場所 熊本市医師会熊本地域医療センター(医師会病院)

医学生・看護学生等の実習(計307名)

医学部学生40名(呼吸器内科、消化器内科、小児科、緩和ケア科)、薬学部学生2名、

看護学生233名、診療放射線技術専攻学生7名、理学療法士専攻学生3名、

作業療法士専攻学生1名、言語聴覚士専攻学生5名、臨床工学技士専攻学生3名、

救急救命士専攻学生7名、その他6名

医療現場の見学、一般病棟・緩和ケア病棟の見学等

イ 指導者としての自己研鑽

学会名	発表演題
第 63 回 日本呼吸器学会学術講演会	非小細胞肺癌における抗 PD-1/PD-L1 抗体薬獲得耐性例に対する Beyond PD での抗 PD-1/PD-L1 抗体薬継続治療の有用性
第 123 回 日本外科学会定期学術集会	肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除における新たなアプローチ
第 123 回 日本外科学会定期学術集会	虫垂癌と大腸癌の臨床病理学比較検討
第 105 回 日本消化器内視鏡学会総会	①食道の多発拡張血管小集簇 (MDV) と食道異時多発癌との関連 ②胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡的胃局所切除術の治療成績
第 122 回 日本皮膚科学会総会	イネ科花粉症に合併した小麦依存性運動誘発アナフィラキシーの 1 例
第 35 回 日本肝胆膵外科学会学術集会	Laparoscopic surgical management for intraoperative bile leak during laparoscopic liver resection
第 78 回 日本消化器外科学会総会	Intrahepatic glissonean approach による腹腔鏡下 S8 系統的切除の定型化
第 78 回 日本消化器外科学会総会	膵頭十二指腸切除術後の胆道狭窄および胆道系合併症の検討
第 78 回 日本消化器外科学会総会	当院における急性胆嚢炎症例に対する治療戦略
第 42 回 Microwave Surgery 研究会	4 個以上の大腸癌肝転移に対する肝切除+局所凝固療法 肝表在性と深在性の併存する多発肝細胞癌に対する経皮的、内視鏡的アプローチを併用した局所凝固療法 肝細胞癌 intrahepatic dissemination に対する肝切除と術後肝動注療法
第 31 回 日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023 KOBE)	胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡的胃局所切除術の新たな工夫と展開
第 61 回 日本糖尿病学会九州地方会 in 熊本	血糖コントロール悪化で紹介され、悪性疾患が見つかった直近一年の 2 型糖尿病の 7 症例
第 36 回 日本内視鏡外科学会総会	腹腔鏡下胆嚢摘出術後の創感染の後方視的研究

[継続事業2] 救急医療の充実推進発展に関する事業

地域住民の生命と健康を守るため、急病者の医療の確保と重症救急患者の医療を確保することを目的に、外傷や疾病の緊急の診断と治療を必要とする患者に対して適切な診療を提供する拠点として熊本地域医療センターを開設し、初期救急医療体制の休日夜間急患センター業務と二次救急の病院群輪番制病院業務を行っている。

尚、休日夜間急患業務との併用で医療情報の電話相談も行い、更に小児救急医療体制の補強として、小児患者の症状に応じた適切な医療を提供する体制を採っている。また、地域の医師不足による救急医療や地域医療体制の崩壊を防止するため、特に女性医師の就業継続ができる環境整備に対する支援等を行っている。

1) 休日当番医制事業及び年末年始急患診療業務

ア 休日当番医制事業 755施設、受診者39,782名

イ 年末年始急患診療業務

当番医実施医療機関 (令和5年12月30日午前8時～6年1月4日午前8時まで)
57施設 受診者5,121名(二次病院搬送6名)
熊本地域医療センター(令和5年12月30日午前0時～6年1月4日午前8時まで)
1,696名

2) 休日夜間急患センター事業及び医療情報センター業務

実施施設：熊本地域医療センター

(小児科)

平日午後6時～翌日午前8時、休日午前8時～翌日午前8時

(内科、外科)

平日午後6時～午後11時、 休日午前8時～午後11時

受診者：19,330名

医療情報センター取扱い件数 5,824件

(市民5,776、医療機関34、救急隊9、その他5)

3) 病院群輪番制運営事業

実施施設：熊本地域医療センター

受診者：1,872名(熊本市1,422、市外383、県外67)

三次病院への転送54名

4) 子ども医療電話相談事業

実施施設：熊本地域医療センター、毎日 午後7時～午後11時

相談料：無料

相談件数：12,752件

5) 小児拠点病院運営事業

熊本地域医療センターは、小児救急医療の第二次救急医療施設の拠点病院として、休日夜間救急センター、在宅当番医制等の初期救急医療施設及び小児救急患者の搬送機関との円滑な連携体制のもとに、休日及び夜間における入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を提供している。

6) 女性医師支援事業

女性医師及び子育て医師が働きやすい環境の整備を以て医師不足の防止を図り医療の崩壊を回避することを目的とし、医師会館内に一時預かり保育所「メディッコクラブ」を設置して

いる。また、熊本県委託の熊本県女性医師キャリア支援センター事業の一環として、講演会等参加時の一時保育事業を行っている。(男性医師の利用も含む)

- ・保育所の利用者
女性医師延べ344名、男性医師延べ22名、児童延べ463名
- ・熊本県女性医師キャリア支援センターの業務及び利用者
県内の女性医師(子育て中の男性医師含む)に対し、講演会及び学会等参加時の一時保育を行った。また、保育・育児等に関する相談等に対応した。
 - ア 無料託児利用状況
利用日数 33日、女性医師 延べ41名、男性医師 延べ1名、児童 延べ64名
 - イ 広報
主催者へ講演会等開催時の無料託児所について案内し、案内状への無料託児掲載依頼を行った。
女性医師支援事業案内のチラシを作成し、熊本県内医療機関及び熊本市医師会員に案内した。
 - ウ 相談対応
来所相談 男性 0名
女性 2名(勤務医1名、その他1名)
電話相談 男性 11名(開業医1名、勤務医6名、その他4名)
女性 54名(勤務医50名、その他4名)

[継続事業3] 公衆衛生の指導啓発を図る事業

急速な高齢化が進む中で健康寿命の延伸を実現するには、生活習慣病の予防とともに社会生活を営むための機能を高齢になっても可能な限り維持することが重要である。ヘルスケアセンターは、地域自治体と連携し、検診事業結果の共有を行っている。事業ごとに専門医からなる検診班を設置し、精度・確度の向上、データの一元管理、調査分析を行い事業の拡充に努めており、集積したデータは地元の医師会員への情報提供、あるいは地域住民に対する健康増進への意識を高める啓蒙活動に供している。

1) 学校保健

- ア 学校医の推薦
熊本市教育委員会へ13名(内科7、眼科2、耳鼻科4)を推薦
熊本県医師会へ5名(内科4、眼科1、耳鼻科0)を推薦
- イ 学童検診の実施
 - ・学校心臓検診
対象 市立小学校・市私立中学校・公私立高等学校・支援学校のうち、小学校1年・4年、中・高校1年生の児童・生徒。また学校医・養護教諭から検査要請のあったそれ以外の学年の児童・生徒。
第1次検診 令和5年4月11日～令和5年6月9日
第2次検診 令和5年4月15日～令和5年7月29日
実績 156校、実施数 23,934名、精検受診者数(新規)844名、(追跡)106名
 - ・学校腎臓検診(検尿)
対象 市私立幼稚園、市立小・中学校、市立高校、市立専門学校、保育園の園児児童
第1次検診 令和5年4月13日～令和5年5月31日
第2次検診 令和5年4月27日～令和5年6月13日
第3次検診 令和5年5月23日～令和5年7月18日(対象:熊本市立校のみ)
実績 156校、第1次 62,071名、第2次 3,105名、第3次 494名

・学校結核検診

入学（進級）時結核問診票と学校医の内科健診の所見に基づき、X線デジタル撮影と喀痰検査をヘルスケアセンターで実施。

実績 胸部X線 小学校2名、中学校1名の計3名

・肥満度調査および小児生活習慣病予防検診

市内小学4年生の肥満度20%以上の児童を対象として、希望者に予防検診を実施。

また、検診（有所見）者への事後指導として、保護者や養護教諭を対象に医師、栄養教諭、理学療法士による説明会を実施している。

実態調査 小・中学校合計調査数 59,195名 うち20%以上 5,766名

小学校 40,040名 20%以上 3,797名

中学校 19,155名 20%以上 1,969名

小児生活習慣病予防検診受診者数 294名 うち有所見者数 133名

要指導 58名、要精密検査・加療 71名、異常なし 161名、判定不能 4名

小児生活習慣病予防検診説明会：令和6年3月23日開催

保護者 52名、子（受診者） 44名、兄弟等 6名、学校関係 10名 計 112名参加

・脊柱側弯症検診

児童・生徒の内科健診時に、学校医が小学校5年生と中学校1年生に対して重点的に脊柱の検診を行うとともに、ヘルスケアセンター設置の整形外科医からなる検診班より委員が選定された学校へ赴き、健診時に学校医とともに視診・触診を行う。抽出された要精密検査の児童・生徒は、専門医療機関（登録指定機関）で精密検査を受診する検診体制を採っている。

対象者 中学校1年生 722名（令和5年度は中学校のみ実施）

要精検者 中学校1年生 23名

2次検診（精密検査）受診者数 19名

精密検査結果：中学校1年 19名（側弯症 8名、側弯症の疑い 6名、その他 1名、異常なし 4名）

・就学時健康診断

実施期間 令和5年10月1日～令和6年3月31日

実施者数 内科 6,295名、眼科 6,290名

ウ 学校教職員健康診断の実施

実施期間 令和5年7月24日～令和5年9月12日

熊本市の小学校 81校（92校中）、中学校 40校（43校中）の教職員 2,078名を実施。

2) 住民検診

検診の意義である早期発見・早期治療を達成するために各種検診ごとに専門医からなる読影班委員会を置き、二次検診以降のフォローに注意を注ぎ、個別検診の実施医療機関は登録制による指定を行うとともに各種検診の要精密検査者の受診勧奨に努めている。

ア 特定健診・特定保健指導：個別（施設）健診

特定健診のソフトを開発し、実施医療機関に報告書の提供およびデータの一元管理を行い、事業の円滑な実施を図っている。

健診実績 34,602件

特定保健指導：初回実施 95件、評価実施 164件

イ 胃がん検診：検診車による巡回検診および施設内のセット検診

受診者 890名、要精検者 72名、精検受診者 65名（90.3%）、がん 2名（発見率 0.2%）

胃がん検診内視鏡検査：医療機関による個別検診

受診者 5,487 名、要精検者 401 名、精検受診者 389 名 (97.0%)、がん 12 名 (発見率 0.2%)

胃がんリスク検査(血清ピロリ抗体検査)：医療機関による個別検診

令和5年4月～令和6年3月(通年) 872 名

ウ 子宮頸がん検診：医療機関による個別検診

受診者 12,904 名、要精検者 356 名、精検受診者 272 名 (76.4%)、がん2名 (発見率 0.02%)

エ 乳がん検診：医療機関による個別検診

受診者 7,830 名、要精検者 651 名、精検受診者 546 名 (83.9%)、がん 15 名 (発見率 0.2%)

オ 肺がん検診：検診車による巡回検診および施設内のセット検診

受診者 5,702 名、要精検者 92 名、精検受診者 85 名 (92.4%)、がん2名 (発見率 0.04%)

肺がん個別検診：登録医療機関(会員)による個別検診

受診者 8,429 名、要精検者 296 名、精検受診者 246 名 (83.1%)、がん5名 (発見率 0.06%)

カ 大腸がん検診

検診車による巡回検診(市内24校区)と個別検診の併用で実施

冬季期間：令和5年10月16日～令和6年3月31日 郵送検診実施

受診者 10,509 名、要精検者 1,030 名、精検受診者 698 名 (67.8%)、がん 31 名 (発見率 0.3%) 早期がん 19 名、進行がん 12 名)

3) 事業所健診

労働者健康の保持増進を目的に、労働安全衛生法に基づく健康診断を実施して受診者には保健指導を行うなど労働衛生の向上に努めている。

通院2日ドック	16 事業所	31 名
日帰りドック	636 事業所	2,483 名
特定健診	6 事業所	19 名
一般健康診断(定期、採用時)	1,879 事業所	9,399 名
成人病予防検診(協会けんぽ、一般)	1,305 事業所	6,903 名
出張健診(定期・協会けんぽ等)	122 事業所	16,111 名
検診車による胸部検診	141 事業所	14,123 名
〃 胃部検診	11 事業所	680 名
検体検査・生理機能等		9,830 名

4) 健康増進、疾病予防の啓発

・熊本地域医療センター市民公開講座

熊本地域医療センターは、平成23年11月7日付で熊本県指定がん診療連携拠点病院に指定された。「がん」という生死にかかわる病を前にして患者や家族そして医師がどうあるべきか、がんの告知や治療等の選択など、がん診療の拠点病院としての責務により多くの人と「がん」という病を考えていくために、市民を対象とした講座を開催してがんの診療を中心にした医学及び医療について市民に広く啓蒙している。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止していたが、令和5年度は、3年ぶりに開催した。

5) 感染症予防の相談及び予防接種の実施

予防接種要注意者等が安心して予防接種が受けられる体制を整備して予防接種の向上と予防接種による健康被害発生の防止に万全を期すため、熊本県から委託を受けて当法人は地域医療センターで熊本県予防接種センターを開設している。県民からの予防接種の副反応や感

感染症予防に関する相談、あるいはハイリスク者（予防接種要注意者）、海外渡航者への予防接種等を実施している。また医療機関からの相談等にも応じており、予防接種に対する県民の不安感を取り除いている。

令和5年度接種者

ハイリスク者 109人、海外渡航者263人、その他4人、計376人

6) 熊本県熊本地域産業保健センターの設置

熊本労働基準監督署管内の労働者数50人未満の小規模事業場の事業主や労働者を対象とし、労働安全衛生法で定められた保健指導等の産業保健サービスを無料で提供している。

熊本産業保健総合支援センターとの連携のもと、「健康診断結果に基づく医師からの意見聴取」、「労働者の健康管理(メンタルヘルスを含む)に係る相談」、「長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導」、「個別訪問による産業保健指導の実施」の4項目を活動の柱に事業を展開しており、事業場からの相談の対応件数は年々増加している。

対象地域：熊本市、上益城郡、下益城郡、宇土地区

実績：1. 個別訪問産業保健師指導 12 事業場

(熊本市 23、上益城郡 4、下益城郡 0、宇土地区 3)

2. 健康診断結果について医師からの意見聴取 359 事業場、相談者 3,130 名

3. 長時間労働者、高ストレス者に対する面接指導 13 事業場、相談者 21 名

7) 予防接種、母子保健等の充実向上

市民の健康の保持と増進を目的とする予防接種事業や母子保健事業を達成するため、熊本市と連携協力して地域住民の利便性等考慮した事業体制の構築を図り事業の円滑な実施と普及に努めている。

予防接種 263,449 名、乳児健診 10,543 名、妊婦健診 55,316 名、産婦健診 4,042 名、

三歳児視聴覚精密健診：眼科 717 名、耳鼻科 209 名、

肝炎ウイルス検査 2,018 名、風しん抗体検査 327 名

[継続事業4] 准看護師及び看護師の養成に関する事業

急速な高齢化の進展及び保健医療を取り巻く環境等の変化に伴い看護師等の確保の重要性が著しく増大している。看護師の資質向上、医療及び公衆衛生の普及向上を図ることが求められる中において、看護師養成における人材育成を通して社会の期待に応え更に一層の発展をしていくためには、看護実践能力の向上と看護職としての社会的責任並びに国民の要望に対応した看護の質の向上が不可欠である。このことを念頭に生命の尊厳と高い倫理観に基づいた豊かな人間性と、必要な基礎知識、技術を教授し、保健医療福祉活動に貢献しうる質の高い看護実践者の育成につとめている。

ア 看護師養成事業

－医療専門課程－

第1看護学科 修業年限3年、1学年定員70名（総定員210名）

・第13回生入学式 令和5年 4月 5日

新入生71名（うち男性5名）

〔受験者116名(14)、合格者81名(7)、競争率1.4〕

・1年生 歓迎会 令和5年 4月 6日

・第12回宣誓式 令和6年 1月10日(2年生68名)

・入学試験

- 高校推薦・社会人・指定校推薦(第14回生)入学試験
 令和5年10月 1日
- 一般(第14回生)入学試験(前期) 令和5年11月19日
 一般(第14回生)入学試験(後期) 令和6年 2月25日
- ・第11回生卒業式(卒業証書授与68名) 令和6年 3月 5日
- 第2看護学科 修業年限3年、1学年定員40名(総定員120名)
- ・第49回生入学式 令和5年 4月 5日
 新入生41名(うち男性16名)
 (受験者42名、合格者42名、競争率1.0)
- ・入学試験
 推薦・指定校推薦(第50回生)入学試験
 令和5年10月29日
- 一般(第50回生)入学試験 令和5年12月 3日
 第2回一般(50回生)入学試験 令和6年 1月28日
 第3回一般(50回生)入学試験 令和6年 3月 9日
- ・第47回生卒業式(卒業証書授与40名) 令和6年 3月 5日
- ・第113回看護師国家試験(福岡市) 令和6年 2月11日
- 第1看護学科 第11回生68名受験 66名合格 合格率97%(全国87.8%)
 第2看護学科 第47回生40名受験 38名合格
 合格率95%(全国87.8%)

イ 准看護師養成事業

一医療高等課程一

- 准看護科 修業年限2年、1学年定員80名(総定員160名)
- ・第71回生入学式 令和5年 4月 5日
 新入生46名(うち男性9名)(受験者53名、合格者52名)
- ・入学試験
 推薦・社会人(第72回生)入学試験 令和5年10月22日
 一般(第72回生)入学試験 令和5年11月26日
 第2回一般(第72回生)入学試験 令和6年 1月21日
 第3回一般(第72回生)入学試験 令和6年 2月10日 (応募者なしの為中止)
 第4回一般(第72回生)入学試験 令和6年 3月 2日
 第5回一般(第72回生)入学試験 令和6年 3月16日
- ・戴帽式(第71回生) 令和5年10月18日(1年生42名)
- ・2年生卒業前記念講演会
 期 日 令和6年2月28日
 テーマ 「看護職となるあなたへエール」
- ・第70回生卒業式(卒業証書授与56名) 令和6年 3月 5日
- ・熊本県准看護師試験 令和6年 2月14日
 合格発表 令和6年 3月11日
 准看護科 第70回生56名受験 56名合格 合格率100%

ウ その他3学科合同行事

- ・学校説明会(高校の先生方への説明会) 令和5年 8月 1日

[継続事業5] 社会保障制度の適切な運営事業

国民の健康で文化的な生活を目的とする社会保障制度は、行政のみならずその実践に深く係わる者の周知や理解なくしては成り立たない。制度のなかで大きなウエイトを占めるのが医療関連

制度であり、行政と連携協力のうえに社会保障制度の円滑かつ適正な運営を図ることを目的に制度の説明会等を実施している。

・行政通知等の広報

熊本市より 11 件通知
九州厚生局より 1 件通知

・各種説明会等の実施

ア 新型コロナウイルスに関する医療情報提供体制説明会（ハイブリッド）令和5年5月2日

[特定寄附] 医学教育の向上及び地域医療の充実に資するための寄附

医学教育の向上及び地域医療の充実に資するために、熊本大学医学部への寄附を実施。

[他事業1] 地域医療の支援、発展に関する紹介型開放型病院の運営事業

地域の医療機関からの重症患者を受入れ、必要な医療を提供した後、元の医療機関に戻すことによる医療機関相互の機能分担と連携を可能なものとし、地域医療全体の質を向上させるために、地域医療の中核となる熊本地域医療センターを、地域のかかりつけの医師、医療機関（特に診療所）の後方支援病院として開設した。熊本地域医療センターは地域の医師に開放された病院であり、地域の診療所で治療が難しい患者に対し、診療所からの紹介によって治療を行うことを主業務とする病院で、地域の医師が患者に良質の医療を行うための基盤となっており、当法人が地域医療のネットワークを形成するために開設している臨床検査センターやヘルスケアセンター（健診施設）、在宅ケアセンター（訪問看護・介護）とともにあって地域医療の質を向上させている。

入院患者数 5,485名、入院延日数55,499日、在院日数月平均8.6日

紹介率：月平均93.4%

手術数 841件 うち203件が緊急手術、会員執刀74件

共同指導件数 138件、共同指導回数 201回

外来患者数 53,629名（平日日勤帯外来患者数34,299名、休日夜間帯外来患者数19,330名）

各種検査 内視鏡検査5,441件（治療内視鏡1,051件）、MRI検査4,344件、CT検査8,512件、超音波6,217件、心カテ34件

[他事業2] 社会福祉の増進に関する在宅ケアセンター運営事業

高齢化社会の到来で、在宅医療の充実にともに保健福祉の向上は避けては通れないものであり、地域における包括医療提供体制を構築して社会福祉の増進、特に高齢者の福祉の増進を図ることを目的として在宅ケアセンターを開設し、次の事業を行っている。

1) 訪問看護ステーション

病気や障害をもって在宅医療する方に対して、専門的知識、技術、判断をもって病気や障害の改善に努め、より良い状態で安全に充実した生活が送れるようあらゆる在宅療養支援することを目的としている。

医療機関からの指示を受け514名に訪問看護を行った。

医療保険利用者156名、介護保険利用者358名

医療保険による訪問回数624回、介護保険での訪問回数1,940回

計2,564回

2) 訪問介護ステーション

利用者の自立支援として身体介護サービス、家事援助サービス、生活・身上・介護に関する相談助言等を行っている。

924名に対し、5,701回の訪問介護を行った。

介護サービス利用者494名、介護予防サービス利用者410名、その他利用者20名

訪問回数内訳：総合事業2,046回、生活援助2,846回、身体介護325回、身体・生活398回、その他86回

3) 居宅介護支援事業所

介護保険に関する各種申請代行、ケアプラン作成、サービス事業所の紹介・調整やその他介護保険に関する相談を行っている。

令和5年度 要介護1以上のケアプラン作成対象者 延べ1,190名
介護予防給付対象者である要支援者 延べ 42名

4) 地域包括支援センター

地域での高齢者の包括ケアを機能させるため、保健師、ケアマネージャー、社会福祉士を配置し、地域での各種サービスや地域ネットワークの構築などを柱に個別サービスのコーディネートを行っている。

令和5年度 ケアプラン作成者延べ4,505名、相談件数2,740件

[他事業3] 臨床検体検査運営事業

1) 検査センター

臨床検体検査は、診断・治療の用に供する診療の根幹をなすものであり、精度の高い正確な検査データを迅速に供給することが求められ、また、迅速検査は、患者中心の医療や患者サービスの向上が言われる今日、患者にも大きな恩恵がある。これら地域の医師の負託に応え、地域の医療の水準を高めて地域医療の質を向上させることを目的として検査センターを開設し、地域の医療機関からの依頼による臨床検体検査を実施している。

取扱検体数 年間 1,635,658検体 検査項目数 年間 8,085,695項目

2) PCRセンター（令和5年5月7日までで業務終了）

熊本市からの委託を受け、新型コロナウイルス感染症検査施設として設置運用を行った。

（今年度）令和5年4月1日～令和5年5月7日

検査数707名、陽性数43名、陰性数664名

（総合計）令和2年7月6日～令和5年5月7日

検査数115,984名、陽性数33,928名、陰性数82,056名

※記載数はPCRセンター測定分のみ

[他事業4] 会員相互扶助事業

1) 代行業務

地域住民の健康の保持と増進を目的とする公衆衛生事業等の事務処理を効率的、効果的にを行うため、熊本市と熊本市医師会で委託契約している予防接種及び健診について、実施登録医療機関から提出された報告書・予診票及び受診券すべてを取り纏めて、市への実施医療機関の請求や市からの実施医療機関への料金支払いの対応等を一括代行している。

2) 会員所属地区部への補助金、同好会への補助金等

ア 熊本市医師会は、東、中、西、南、北部の地区部と勤務医部の6部に区分し、会務の連絡を図るため、会員数に応じて補助金を助成している。

イ 熊本市医師会では、会員3名以上で結成される同好グループで規定を満たすものを趣味同好会として認可し、補助金を助成している。

剣道部、登ろう会、肥後狂句（杏風会）、ゴルフ会、ワイン同好会、古典音楽同好会

3) 熊本市受診案内センター

市からの委託事業として、発熱患者からの電話相談を受け、受診可能な診療・検査医療機関の案内を行う。

令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日） 受電件数9,739件

4) 代診医師募集

諸事情により診療できなくなった会員医療機関から、代診医師募集の依頼を受け、事務局にて調整を行う。（依頼数2件、調整数2件）

[他事業5] その他の収益事業

1) 事務受託事業

 本会外郭団体への一部業務支援

2) 生命保険事務受託事業

3) 駐車場運営事業

4) テレビカード販売手数料

5) 医師会病院の売店・レストランの賃借料

6) 自動販売機設置手数料

2. 重要な契約に関する事項

なし

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

各理事が担当業務・事業状況を報告し、当法人への入会等重要な案件は担当理事の提案に基づき協議・決定している。尚、検討時間を要する内容のものについては、理事会の企画検討事項として採り上げ協議している。

理事会開催日

R5年 4月 12日・26日

5月 10日・24日

6月 14日・28日

7月 12日・26日

8月 9日・23日

9月 13日・27日

10月 11日・25日

11月 8日・22日

12月 13日・27日

R6年 1月 10日・24日

2月 14日・28日

3月 6日・27日

(2) 代議員会

○第30回臨時代議員会（通算第277回）

日時 令和5年4月6日（木）19:00

場所 熊本市医師会館 2階講堂

報告

1. 熊本地域医療センター医師会病院の建替えについて（中間報告）

提出議案

1. 令和5年度一般社団法人熊本市医師会会費免除申請に関し承認を求むるの件

2. 令和5年度一般社団法人熊本市医師会会費の賦課及び徴収に関し承認を求むるの件

※以上提出議案は、審議の結果原案通り承認された。

○第31回臨時代議員会（通算第278回）

日時 令和5年4月28日（金）19:00

場所 熊本市医師会館 2階研修室

提出議案

1. 土地取得に関し承認を求むるの件

※以上提出議案は、審議の結果原案通り承認された。

○第32回臨時代議員会（通算第279回）

日時 令和5年6月23日（金）19:00

場所 熊本市医師会館 2階研修室

報 告

1. 令和4年度一般社団法人熊本市医師会事業報告
2. 令和5年度一般社団法人熊本市医師会事業計画及び予算
3. その他

提出議案

1. 一般社団法人熊本市医師会令和4年度財務諸表に関し承認を求むるの件
 2. 公益社団法人熊本県医師会代議員及び同予備代議員の補欠選挙に関する件
- ※以上提出議案は、審議の結果原案通り承認された。

(3) 会員懇談会

日 時 令和5年9月9日(土) 17:30

場 所 ホテル日航熊本

- ①事業報告
- ②決算報告

(4) 会計監査

令和5年6月1日、2日の両日、令和4年度の会務及び会計について監事3名から監査を受けた。

4. 収支及び正味財産の状況推移

単位：百万円

事業年度	R4年3月期	R5年3月期	R6年3月期
前期繰越収支差額	4,816	5,398	6,314
当期収入合計	9,107	9,015	7,991
当期支出合計	8,525	8,099	8,389
当期収支差額	582	915	△397
次期繰越収支差額	5,398	6,314	5,916
資 産 合 計	14,477	14,896	15,134
負 債 合 計	3,280	2,838	2,873
正 味 財 産	11,196	12,057	12,261

Ⅲ. 株式保有の概要

熊本シティエフエム株式 90万円

熊本県医師信用組合 5万円